

第8回「山の日」全国大会実行委員会

第2回総会資料

資料目次

- 第1号議案 令和5年度事業報告
- 第2号議案 令和5年度収支決算
- 第3号議案 実行委員会第1回総会からの変更点
- 第4号議案 実施計画（令和6年度事業計画）
- 第5号議案 令和6年度収支予算

令和5年度 事業報告

第8回「山の日」全国大会実行委員会において、令和5年度は下記の事業を実施しましたので報告いたします。

記

1 実行委員会・運営委員会等の開催

(1) 実行委員会

① 実行委員会 設立総会

開催日：令和5年8月31日（木）

形式：対面（オンライン併用）：東京都庁第一本庁舎6階 ホール

内容：実行委員会設立趣意書・規約・構成員・特別職について



【会場全体】



【小池都知事と山の日帽】

② 実行委員会 第1回総会

開催日：令和5年9月1日（金）

形式：書面開催（令和5年9月14日 結果報告）

内容：開催概要（骨子）・令和5年度事業計画・令和5年度収支予算 等

③ 実行委員会 第2回総会（開催予定）

開催日：令和6年3月13日（水）

形式：書面開催（令和6年3月21日 結果報告予定）

内容：令和5年度事業報告・令和5年度収支決算・実施計画（案）
・令和6年度収支予算 等

(2) 運営委員会

① 第1回 運営委員会

開催日：令和6年2月9日（金）

形式：対面：東京都庁第二本庁舎31階 特別会議室22

出席者：委員21名

内容：プレイベントの実施・大会実施計画（案）の作成 等

② 第2回 運営委員会

開催日：令和6年3月12日（火）

場 所：オンライン開催

出席者：委員19名

内 容：第8回「山の日」全国大会実行委員会 第2回総会資料の説明

2 第8回「山の日」全国大会開催準備等業務委託受託者の決定

PR事業、イベント等において、専門事業者に企画の提案を求め、複数の提案の中から最も優れた内容の企画提案を行った者を契約の相手方として選定する企画提案方式にて、委託事業者を選定。

審査申込事業者は3社あり、令和5年11月13日（月）に学識経験者等の外部委員2名を含む5名の委員により審査を実施。審査基準に基づく厳正な審査を行った結果、株式会社京王エージェンシーの提案が最も優れていると判断され、受託者として決定。

3 東京大会テーマ・ロゴマークの決定

(1) 大会テーマ

第8回「山の日」全国大会開催準備等業務委託の中で、提案されたテーマを採用。

山とともに成長する都市、東京。

～山々の恵みを未来へつなぐ～

日常生活の中で、“山の恩恵”との関わり合いが希薄になりかねない都民へ、東京の山や様々な自然が都市生活（都民の毎日の暮らし）に密接に繋がり、“山の恩恵”を享受していることの「気付き」や「理解」を醸成。

(2) ロゴマーク

複数案を作成し、実行委員会会長に承認を得て決定。



「東京都全体」を開催地とする大会コンセプトを表現。山から都市、島しょへと広がる多様な自然、その自然とつながる大都市東京の魅力を伝えるマーク。

4 ポスター・チラシ

(1) ポスター・チラシデザインの決定
複数案を作成し、実行委員会会長に承認を得て決定。

山から島しょ地域へとつながる大都市東京の自然と、共生する人々の暮らしを描いた。

東京に生息する多様な動植物と、活気のある都民の姿を、親しみを込めたデザインで表現。



(2) ポスターの配布

令和5年度は特にプレイベントの告知に重点を置いたため、奥多摩町周辺の小中学校及び多摩地域の都有施設を中心にポスターやチラシを配布。

5 プレイベントの実施

春を迎え山や自然へのレジャーへの期待が高まり始める3月2日（土）に、奥多摩駅周辺にてプレイベントを実施した。

(1) 奥多摩町福祉会館

①ステージイベント（1F 集会室）

キックオフセレモニーに加え、山に関連するステージイベントを実施。



【キックオフセレモニー】



【ステージイベント】

②ワークショップ・体験・展示（2F 和室）

自然教育研究所センターによるシカの革で作るオリジナルキーホルダーやスギのお香作りなどのワークショップや山登り服装ガイド・見どころ解説などの展示を実施。



【ワークショップ】



【展示】

(2) 奥多摩駅 駅前広場

東京のゆかりの食材等を使ったキッチンカーにて飲食物を販売。



【総合案内所】



【キッチンカー】

(3) 奥多摩ビジターセンター

高尾 599 ミュージアムによる木のえんぴつ作りや鳥のキーホルダー作りの体験に加え、さわれるムササビや花の亚克力標本などの展示を実施。



(4) スタンプラリーの実施

各施設を周遊するスタンプラリーを行い、集客に努めた。



500名以上の来場者があり、本大会の周知と大会への期待の感醸成に繋げることができた。

6 普及啓発

(1) ホームページの作成

1月よりホームページをアップしており、3月10日現在で113,000回以上、検索されている。

全ての都民が楽しめる大会であることを意識して、親しみのあるデザイントーンで表現。

知りたい情報へ迷わず到達できるよう、アクセシビリティにも十分に配慮したサイトを構成。

<https://www.yamanohi-tokyo.com/>



(2) 公式SNSでの発信

① X(twitter)

短文の投稿を中心に、コメント機能や拡散機能を活用し、コンテンツ・イベント日程等ユーザーが求める情報をピンポイントで訴求。

https://twitter.com/i/flow/login?redirect_after_login=%2Fyamanohi_tokyo



② LINE

国内9500万人のユーザー数のツールを利用し、幅広く事業内容を訴求。ユーザーが検索した際に、ヒットするようなワードを記載。

<https://lin.ee/buvJlId>



③ Instagram

若い世代を中心に利用者が多いSNS。大会の状況が伝わる画像を使用するとともにハッシュタグも使い、情報をいち早く訴求。

https://www.instagram.com/yamanohi_tokyo2024/p/C3RaQb1RGnN/



(3) 新聞広告の実施

産経新聞3月1日朝刊多摩版に1/4ページのプレイベント広告を掲載。

7 関連イベント

第8回「山の日」全国大会を「東京全体」で開催するに当たり、多様な主体の参画により開催するイベントを、「大会関連イベント」として募集し、幅広く実施することにより、東京の豊かな生物多様性や山の持つ様々な機能について、多くの方々への理解を広め、体感していただき、大会への機運醸成を図る。

(1) 都有施設イベント事業

ビジターセンター等都有施設において、東京の豊かな生物多様性を踏まえた山の持つ様々な機能等について、参加者が理解し体感できるイベントに対し、補助金を交付する。令和5年12月31日までの申請期限で10施設20事業の申請があった。

(2) 区市町村等関連イベント

多様な主体の参画により開催するイベントを、「第8回「山の日」全国大会関連イベント」として募集し、幅広く実施することにより、東京の豊かな生物多様性などについて、多くの方々への理解を広め、体感していただくことで、大会への機運醸成を図る。

第一次募集期間は令和5年12月5日から同月22日までで、11団体31イベントの申請があった。

第二次募集を令和6年3月1日から募集しており、民間企業も含めて幅広く募集し関連イベントを実施していく。

(3) デジタルスタンプラリーの実施

関連イベント（区市町村等イベント及びビジターセンター等都有施設イベント）を周遊させるための施策として、デジタルスタンプラリーを実施する。参加者が各イベントを巡りながらスタンプを集め、東京各地の自然に親しんでもらう（システムを構築中）。

実施期間中にスタンプラリーのポイントをまわり、各チェックポイントに設置されている地点のQRコードを読み取りスタンプを集める。

スタンプの数に応じて景品を贈呈。



8 協賛募集活動

令和6年2月16日から大会へ協賛いただける企業等の募集活動を開始。

収入は令和6年度から開始。

第8回「山の日」全国大会実行委員会 令和5年度収支決算

【 収 入 の 部 】

(単位：円)

区 分	当初予算額	流用後予算額	決算額	差引	備考
1 負担金	92,040,000	92,040,000	92,040,000	0	
東京都負担金	92,040,000	92,040,000	92,040,000	0	
2 協賛金	6,960,000	6,960,000	0	6,960,000	
3 諸収入	0	0	290	-290	普通預金利息
収入合計	99,000,000	99,000,000	92,040,290	6,959,710	

【 支 出 の 部 】

(単位：円)

区 分	当初予算額	流用後予算額 (流用額)	決算額	残額	備考
1 大会準備・運営費					
総務費	4,456,000	1,144,000 (-3,312,000)	1,140,433	3,567	総会及び運営委員会開催、事務局運営経費
施設費	849,000	4,172,000 (3,323,000)	4,172,000	0	施設使用料等
大会関連費	86,735,000	86,724,000 (-11,000)	86,724,000	0	開催準備等業務委託
小計	92,040,000	92,040,000	92,036,433	3,567	
その他関連費	6,960,000	6,960,000	0	6,960,000	その他関連費
支出合計	99,000,000	99,000,000	92,036,433	6,963,567	

収入（決算額）－支出（決算額）

$$92,040,290 - 92,036,433 = \underline{\underline{3,857 \text{ 円}}} \quad ※ 1$$

※ 1 普通預金利息は支出に充当し、残預金は令和5年度における第8回「山の日」全国大会開催に伴う費用に関する協定書第8条第2項の規定により都に返納します。

実行委員会第1回総会からの変更点

◆ 式典・行事 (8/11)

【当初案】 第1部 9時～10時45分 第2部 11時～12時15分

■ 式典 (第1部)

- ① 来賓挨拶や山鐘など基本的な式典要素
- ② 子供たちによる合唱、豊かな自然を未来へ伝えるアトラクション

■ 行事 (第2部)

- ① 東京ゆかりの**著名人による基調講演**や**トークセッション**
- ② プロジェクションマッピングなど最新のデジタル技術を駆使した生物多様性の分かりやすい発信

◆ 歓迎レセプション (8/10⇒8/11)

【当初案】

【日時】

令和6年8月10日(土) **夕方から** 2時間程度

【会場】

京王プラザホテル八王子「翔王」(立食700名収容)

【変更案】 10時～12時

■ 式典のみ ※行事なし

- ① 来賓挨拶や山鐘など基本的な式典要素
- ② 子供たちによる合唱、豊かな自然を未来へ伝えるアトラクション
- ③ **知事と著名人とのトークセッション等**
- ④ **最新のデジタル技術を融合させたメインアトラクション**

※当初、行事(第2部)で実施予定だった、「デジタルを駆使した演出」の要素について、内容を見直して式典に盛り込むことで式全体を盛り上げ

【変更案】

【日時】

令和6年**8月11日(日)** **12時30分頃**から1時間30分程度

【会場】

京王プラザホテル八王子「**宴**」(**立食300名収容**)

【参加者】

招待者：過去大会と同規模の**約150名**

実施計画（令和6年度事業計画）

1 実行委員会等会議の開催

（1）実行委員会総会の開催

- ・開催数：1回（令和7年2月から3月予定）
- ・内 容：大会実施報告、収支決算の審議、実行委員会の解散等

（2）運営委員会の開催

- ・開催数：2回（令和6年6月、令和7年2月から3月予定）
- ・内 容：事業実績中間報告、実施計画に基づく具体的な大会内容、協賛状況の報告、実行委員会総会資料の審議等

2 大会の実施

実施計画に基づき、大会を実施する。



**第8回「山の日」全国大会 TOKYO 2024
実施計画書**

目次

目次	2
大会概要	3
プレイベント計画	10
記念式典計画	21
歓迎レセプション計画	28
歓迎フェスティバル計画	32
関連イベント計画	35
広報計画	44
協賛計画	51
運営計画	54

大会名称

第8回「山の日」全国大会 TOKYO 2024

大会期間

令和6年8月10日（土）～ 11日（日・祝）

開催地

東京全体

行事概要

【 プレイベント（実施済み） 】

- 日時 : 令和6年3月2日（土） 10時00分～ 15時00分
- 開催場所 : 奥多摩駅 駅前広場、奥多摩町福祉会館、奥多摩ビジターセンター
- 参加者 : 一般参加 523名（メイン会場入場者数）

【 記念式典 】

- 日時（想定） : 令和6年8月11日（日） 10時00分～ 12時00分
- 開催場所（想定） : J:COMホール八王子
- 参加予定者（人数） : 招待者、一般公募（約1,000名想定）

【 歓迎レセプション 】

- 日時 : 令和6年8月11日（日） 12時30分～ 14時00分
- 開催場所 : 京王プラザホテル八王子「宴」
- 参加予定者（人数） : 招待者（約150名想定）

【 歓迎フェスティバル 】

- 日時 : 令和6年8月10日（土）～ 11日（日・祝） / 計2日間
- 開催場所（想定） : 東京たま未来メッセ「展示室（全室）」
- 参加予定者（人数） : 一般参加（約3,000名×2日間想定）

【 その他関連イベント 】

- 日時 : 令和6年4月1日（月）～ 11月30日（土）
- 開催場所 : 都内10ヶ所のビジターセンター等 都有施設 及び 区市町村等
: 島しょ魅力体験ツアー

推進体制

■ 特別職

役職	構成団体	職名	氏名（敬称略）
名誉顧問	一般財団法人全国山の日協議会	会長	谷垣 禎一
顧問	超党派「山の日」議員連盟 一般財団法人全国山の日協議会	会長 副会長	衛藤 征士郎
	一般財団法人全国山の日協議会	副会長	安藤 宏基

■ 実行委員

役職	構成団体	職名	氏名（敬称略）
会長	東京都	知事	小池 百合子
副会長	特別区長会会長	新宿区長	吉住 健一
	市長会会長	東村山市長	渡部 尚
	町村会会長	瑞穂町長	杉浦 裕之
	一般財団法人全国山の日協議会	副会長	橋本 岳
委員	警察庁	長官官房審議官	和田 薫
	消防庁	国民保護・防災部長	小谷 敦
	文部科学省	社会教育振興総括官	八木 和広
	スポーツ庁	審議官	星野 芳隆
	林野庁	森林整備部長	長崎屋 圭太
	国土交通省	水管理・国土保全局砂防部長	草野 慎一
	観光庁	審議官	石塚 智之
	環境省	自然環境局長	白石 隆夫
	一般財団法人全国山の日協議会	理事長	梶 正彦
監事	東京都	会計管理者	須藤 栄
		公認会計士	守泉 誠

推進体制

■ 運営委員

役職	構成団体	職名	氏名（敬称略）
委員長	一般財団法人全国山の日協議会	事務局長	手塚 友恵
副委員長	東京都	環境局自然環境部長	和田 慎一
委員	特別区長会	特別区長会事務局 調査第1課長	藤嶋 賢輔
	東京都市長会	東京都市長会事務局 次長	安部 陽子
	東京都町村会	東京都町村会事務局 次長	内田 峰夫
	八王子市	環境部環境保全課長	石井 正光
	警察庁	生活安全局生活安全企画課長	山口 寛峰
	消防庁	国民保護・防災部参事官	小泉 誠
	文部科学省	総合教育政策局地域学習推進課長	高木 秀人
	スポーツ庁	健康スポーツ課長	和田 訓
	林野庁	東京神奈川森林管理署長	中村 隆史
	国土交通省	水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長	國友 優
	観光庁	観光産業課長	庄司 郁
	環境省	関東地方環境事務所 次長	中島 治美
	東京都	産業労働局総務部企画調整課長	中村 満輝
		建設局公園緑地部計画課長	坂下 智宏
港湾局臨海開発部海上公園課長		石橋 健治	
水道局浄水部管理課長		金子 俊一	
環境局多摩環境事務所長		近藤 豊	
環境局気候変動対策部計画課長		佐藤 志信	
環境局環境改善部計画課長		古舘 将成	
環境局資源循環推進部計画課長	堀 哲		

「山の日」全国大会の目的

大会は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という国民の祝日「山の日」の趣旨の浸透を図るとともに、山に関する歴史や文化の継承、環境保全、観光振興、健康増進、山岳遭難や自然災害への対応などの様々な課題の解決や「山の未来」のあり方について考える機会とし、もって国民の幸福と関係各所の連携と発展に資することを目的としています。

大会共通テーマ

山と共に～人と自然がつながる社会へ～

未来を担う子供たち誰もが「山」を考え「山の日」制定を祝う全国大会の参加機会とするため、子供たちの「山への想い」を表現したもの。

※第一回「山の日」記念全国大会において全国公募より選定されたテーマ

大会共通ロゴマーク

「山の日全国大会」大会統一ロゴマーク



東京大会理念

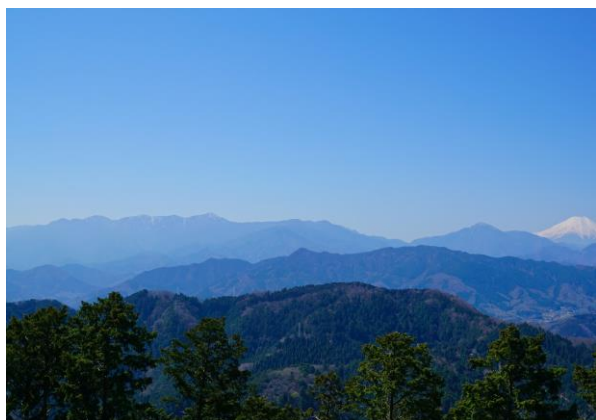
東京は、1,400万都民が暮らす大都市でありながら、奥多摩の山地から丘陵地の里山、市街地の緑地や水辺、島しょ部の原生的な自然など、実に多様で豊かな自然を有する、世界でも類を見ない都市です。

しかし、高度経済成長期には、開発による森林伐採、水田・畑地などの農地の減少などが東京の生物多様性に大きな影響を及ぼしました。また、人が持ち込んだ外来種も、在来の生きものの生息・生育環境を脅かしています。

都内だけでなく、地球規模の生物多様性の保全にも配慮していかなければなりません。日々の生活や企業活動は、消費や調達を通じて、世界の生物多様性にも影響を及ぼしています。

都は令和5年4月に生物多様性地域戦略を改定し、2050年における東京のあるべき姿を示し、それに向けて2030年に達成すべき目標として、生物多様性を回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの実現を掲げました。自然地の減少、侵略的外来種といった都内の課題や、大都市東京が世界の生物多様性に与える影響などを踏まえ、「生物多様性の保全と回復」、「生物多様性の持続的な利用」、「生物多様性に関する理解と行動変容」からなる3つの基本戦略と、その実現に向けた行動目標を定めています。

東京における「山の日」全国大会の開催をきっかけとして、多くの都民に、多様な植物や生き物が生息し、生物多様性が豊かな「東京の山」の様々な機能について、理解し体感し、そして後世へつなげていく大会としてまいります。



東京大会の目標・テーマ

【目標】

都心も含めた東京全体で、多様な生きものが身近に感じられる環境を保全・回復を図るため、自然と共生する豊かな都市・東京を都民全員で目指します。

東京都で「山の日」全国大会を開催する意義と、生物多様性の狙いを学び、体感し、東京全土の都民・国内外に向けて「山（自然）と東京のあり方」を発信し、未来を担う子どもたちに引き継ぎます。

【テーマ】

山とともに成長する都市、東京。
～山々の恵みを未来へつなぐ～

日常生活の中で、“山の恩恵”との関わり合いが希薄になりかねない全都民へ、東京の山や様々な自然が都市生活（都民の毎日の暮らし）に密接に繋がり、“山の恩恵”を享受していることの「気付き」や「理解」を醸成します。

東京大会ロゴマーク



「東京都全体を開催地」とする大会コンセプトを表現しています。
山から都市、島しょ地域へと広がる多様な自然、
その自然とつながる大都市東京の魅力を伝えていくロゴマークです。



山から島しょ地域へとつながる大都市東京の自然と、共生する人々の暮らしを描いています。東京に生息する多様な動植物と、活気のある都民の姿を、親しみを込めたデザインで表現しました。

プレイベント計画



基本的な考え方

春を迎え山や自然へのレジャーへの期待が高まるシーズンに、東京の山の楽しみ方や山を身近に感じるイベントで山の楽しみ、恵みを満喫し、早期から山に親しみ、「山の日」イベントへの期待感の醸成と参加促進につなげます。

開催名称

第8回「山の日」TOKYO 2024 プレイベント

日時

令和6年3月2日（土） 10:00～15:00

会場

- ①奥多摩駅 駅前広場
- ②奥多摩町福社会館（東京都西多摩郡奥多摩町氷川199番地）
- ③奥多摩ビジターセンター（東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1）

参加者

一般参加者（参加無料）

実施内容

①【 スタンプラリー 】

- 開催場所 : 全体
- 内容 : 各エリアを周遊していただくように、スタンプラリーを展開
スタンプを集めて、ゴールへいくと記念品プレゼント

②【 キッチンカー 】

- 開催場所 : 駅前広場
- 内容 : 飲食関連のキッチンカーの出店

③【 ステージ 】

- 開催場所 : 福社会館
- 内容 : 既存のステージを利用した、ステージコンテンツを展開

④【 ワークショップ 】

- 開催場所 : 福社会館・ビジターセンター
- 内容 : ワークショップの開催

⑤【 展示・体験 】

- 開催場所 : 福社会館・ビジターセンター
- 内容 : ワークショップの開催

全体レイアウト



スタンプラリーの概要

【実施内容】 各施設に設置してあるスタンプラリーポイントを周って、スタンプをすべて集めると高尾599ステッカー、CES缶バッジをプレゼント。

【配布】 時間：10:00～14:30
場所：駅前広場 案内所、福祉会館、ビジターセンター

【交換】 時間：10:30～15:00
場所：駅前広場 案内所

【景品】 様々葉っぱステッカー（高尾599提供）
東京の自然に暮らす生きもの缶バッジ（CES提供）

【設置位置】



【景品】



缶バッジ



ステッカー

【スタンプラリーポイントイメージ】



<マークイメージ>



キッチンカー

【実施場所】 駅前広場

【実施時間】 10:00 ~ 15:00

【実施内容】 キッチンカーにて飲食物の販売



【出店一覧】

No	出店名	販売内容
①	彩 S A I K A 雅 (サイカ)	東村山黒焼きそばはご当地グルメグランプリ受賞、ふるさと納税返礼品
②	54CAFE&CREPE (フィフティフォーカフェアンドクレープ)	羽村市にあるもちもちの生地が自慢クレープ屋さん
③	BREAD GARDEN (ブレッドガーデン)	福生市のご当地B級グルメ【福生ドッグ】
④	わさび食堂 (わさびしょくどう)	奥多摩のわさび農家が運営するフードトラック

配置レイアウト



ステージイベント

【実施場所】 奥多摩町福祉会館 1F集会室

【実施時間】 10:55 ~ 14:40

【実施内容】 既存のステージを利用した、ステージコンテンツを展開

スケジュール

時間		プログラム	内容	出演者	機材
10:30	25分	ドアオープン	▶客入れ 福祉会館2F和室のワークショップ終了後の参加者を呼び込む		
10:55	5分	オープニング	▶ステージスタート：MCにてイベントの案内など オープニング終了の流れで、華道パフォーマンスを紹介	□MC	□ハンドマイク：1本
11:00	30分	生花パフォーマンス	▶華道家「大谷美香」さんによる生花パフォーマンス	□MC □大谷美香さん	□ヘッドセット：2本（1台予備） □CD □床養生（W4100×D3800） □滑車付き土台 （W2,000×D1,500）
11:30	30分	転換	華道用の道具・養生などの撤去、作品の掲示		
12:00	30分	書道パフォーマンス	▶書道家「万美」さんによる書道パフォーマンス	□MC □万美さん	□ヘッドセット：2本（1台予備） □CD □床養生（W4100×D3800） □壁面 （W2700×H2100木工・自立）
12:30	30分	転換	書道用の道具・養生などの撤去、作品の掲示		
13:00	30分	山の日 キックオフセレモニー	▶MCからこのステージの概要を説明しスタート ▶主催者より挨拶 ▶来賓より挨拶 ▶挨拶終了後、「山の日」全国大会 東京大会の説明へ	□MC □栗岡局長 □井上信治衆議院議員 □師岡奥多摩町長 □都議会議員 清水やすこ様 □都議会議員 田村利光様 □都議会議員 森村隆行様 □奥多摩町議会議長 小峰陽一様 □説明者： 東京都 下間様	□有線：1本 □ワイヤレス：2本 □モニター：1台 □PC：1台 □卓上マイクスタンド：1台 □マイクスタンド：1台 □司会台：1台
13:30	15分	転換	機材の転換		
13:45	20分	お笑いライブ	▶お笑い芸人「錦鯉」さんによるお笑い芸人ライブショー	□MC □錦鯉さん	□有線：1本 □ピンマイク：2本 □38マイク（ダミー）：1本 □CD ・ネタ音源持ち込み ・出囃子は指定なし
14:05	25分	みんなで学ぶ！ 東京の自然の魅力	▶CES河又様による山の生き物についての講演（10分） ▶高尾599滝本様による山の魅力についての講演（10分）	□MC □CES河又様 □高尾599滝本様 □錦鯉	□有線：1本 □ピンマイク：2本 □CD □モニター：1台 □PC：1台 □司会台：1台 □椅子：2脚
14:30	10分	エンディング	▶前のプログラム終了後の流れで「錦鯉」さんとMCでエンディング	□MC □錦鯉さん	□有線：1本 □ピンマイク：2本 □CD

ステージイベント出演者



華道家

大谷美香（おおたに・みか）

草月流一級師範理事

1968年生まれ。聖心女子大学卒。1990年草月流入門。以来初代蒼風家元の直門富田双康先生に師事。いけばなインターナショナル会員。東京都内に3教室ある生け花教室「アトリエ双香」を主宰。

▶内容

- ①華道デモンストレーション（30分）
- ②ワークショップ
- ③参加者と一つの作品を完成「いけばなアート」



書道家

万美（まみ）

9歳で筆を持ち、高校時代より書家を志す。

古典に立脚した書道と、様々なカルチャーとの共通点を見出し、数多くのコラボレーションを実現。

日本各地、世界各国を巡る。

▶内容

「山」にちなんだ書道パフォーマンスを実施。

※30分/1回の書道パフォーマンス



芸人

錦鯉（にしきごい）

ソニー・ミュージックアーティストズ（SMA NEET Project）

及び漫才協会に所属するお笑いコンビ。

2012年4月に結成、2021年「M-1」17代目王者。

▶内容

20分×1ステのネタ見せ

クイズみんなで学ぶ！東京の自然の魅力への参加



MC

フリーアナウンサー

滝沢 柚紀子

▶内容

イベントの司会進行

ステージイベント会場レイアウト



【奥多摩町福祉会館】ワークショップ・体験・展示

【実施場所】 奥多摩町福祉会館 2F和室

【各コンテンツ対応可能人数】 1回当たり

【参加方法】 事前応募
※木の実クラフトのみ当日受付

【実施内容】

コンテンツ名	人数 (1回当たり)	実施回数
木の实クラフト	20名	4回
スギのお香作り	10名	4回
シカの革で作るオリジナルキーホルダー	5名	4回
動物のフィールドサイン三角定規作り	15名	4回
動物のこんせきサコッシュ	10名	4回

ワークショップ

- 木の实クラフト
- スギのお香作り
(スギの葉をすりつぶした粉を固めてお香を作るクラフト)
- シカの革で作るオリジナルキーホルダー
- 動物のフィールドサイン三角定規作り
(動物のお話を聞いた後に、木をやすりで磨いたりスタンプを押して完成)
- 動物のこんせきサコッシュ
(動物のお話を聞いた後に、サコッシュへスタンプを押して完成)



木の实や丸太を使用したクラフト



スギのお香作り



動物のフィールドサイン三角定規作り



動物のこんせきサコッシュ

展示・体験

- さわる剥製
- 森の落とし物展示
- 山登り服装ガイド、見どころ解説
- 夜の森おためし体験
- フットオン展示



さわる剥製



森の落とし物展示



山登り服装ガイド、見どころ解説



夜の森おためし体験



フットオン展示



【奥多摩町ビジターセンター】ワークショップ・体験・展示

【実施場所】 ビジターセンター 2フレクチャールーム

【実施時間】 ①10:30 ~ 11:00
②11:30 ~ 12:00
③12:30 ~ 13:00
④13:30 ~ 14:00
⑤14:30 ~ 15:00

【参加人数】 各回各コンテンツ10名ずつ 計200名

【参加方法】 事前応募
(ムササビのぬり絵しおり作り、さわれる展示は当日受付)

【実施内容】

ワークショップ

- 木のえんぴつ作り
- 葉っぱのストラップ
- 鳥のキーホルダー (木の輪切りで可能)
- ムササビのぬり絵しおり作り



木のえんぴつ作り



鳥のキーホルダー



葉っぱのストラップ



ムササビのぬり絵しおり作り

展示・体験

- さわれるムササビ
- どんぐりのパチンコ



さわれるムササビ



どんぐりのパチンコ

着ぐるみグリーティング

【実施内容】 奥多摩町イメージキャラクター「わさびー」による
着ぐるみグリーティングを展開。

【実施時間】 ①10:30 ~ 11:00

ステージの集客を目的に福祉会館1F付近をグリーティング

②11:30 ~ 12:00

ステージの集客を目的に福祉会館1F付近をグリーティング

③12:30 ~ 13:00

ステージの集客を目的に福祉会館1F付近をグリーティング

④14:00 ~ 14:30

イベント全体の賑やかしを目的にグリーティング

※状況に応じてグリーティング場所は調整

【体制】 アクター：1名 アテンド：1名

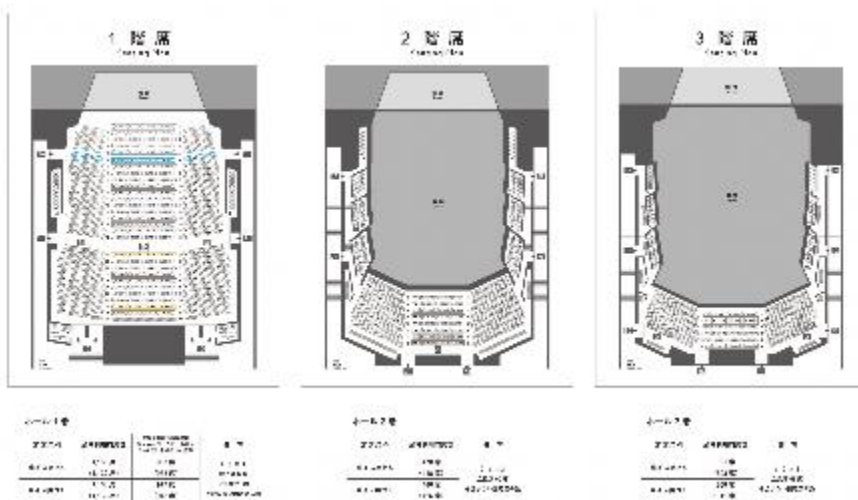


記念式典計画



概要

- 基本的な考え方 : 地元学生による活気ある書道パフォーマンスから始まり、ゲストトークショーによる山や生物多様性に関する普及啓発、誰もが楽しめるデジタルコンテンツによる学習、山や自然の魅力を視覚聴覚で体感し、楽しむメインアトラクションなどを展開
- 日時 : 令和6年8月11日(日・祝) 10時00分 ~ 12時00分
- 参加予定者(人数) : 招待者、一般公募(約1,000名想定)
- 開催場所 : J:COMホール八王子



スケジュール(案)

時間	LAP	プログラム	内容
09:00	60'	開場	・来場者入場 ※PR動画・その他映像など放映
10:00	15'	OPアトラクション	『書道パフォーマンス』
10:15	20'	知事挨拶等	開会の言葉・主催者・来賓等挨拶
10:35	30'	メインアトラクション	ストーリーテラーによる演劇形式のステージパフォーマンス
11:05	15'	デジタルコンテンツ	
11:20	20'	トークセッション	都知事登壇
11:40	15'	リレーセレモニー	山の日の帽の引継ぎ 吹奏楽・山の日合唱
11:55	5'	閉会の言葉	閉会を告げる山鐘
12:00	-	閉会	

オープニングアトラクション概要

書道パフォーマンス

【出演団体】

書道パフォーマンス甲子園東京代表
八王子実践高等学校

曲に合わせてダイナミックな動きで「山の日」の書を作成します。



山鐘概要

山鐘（8点鐘）

【出演団体】都内小中学生予定

子どもたちが、「山の日」に対する「思い」が込められた鐘を
11回（開会時に8回、閉会時に3回）鳴らします。



- | | | | |
|--------|-------------------------|---------|---------------------|
| 第 1 山鐘 | 山の日誕生を祝う思い | 第 7 山鐘 | 山を愛する人への思い |
| 第 2 山鐘 | 山に親しむ機会を得ることへの思い | 第 8 山鐘 | 山で亡くなられた方々への思い |
| 第 3 山鐘 | 山、その恩恵に感謝する思い | 第 9 山鐘 | 来年の大会の成功への思い |
| 第 4 山鐘 | 山を慈しみ労わり活かす思い | 第 10 山鐘 | 大会に参加された全ての方の幸せへの思い |
| 第 5 山鐘 | 水や木など山の恵みを大切にする思い | 第 11 山鐘 | 明るく豊かな山の未来を子供達に託す思い |
| 第 6 山鐘 | や鳥、蝶など山に棲む生き物たちを大切にする思い | | |

式典概要

開会のことば

／ 主催者・来賓等挨拶

【登壇者】 別途調整

トークショー概要

登壇者案



東京都知事



野口 健



釈 由美子



川田 裕美

※敬称略

デジタルコンテンツ

- 基本的な考え方 : 生物の多様性を学びながら、みんなで自然の風景をつくりあげる、リアルタイム参加型コンテンツを実施クイズを通して、山や生物多様性について学習しつつ、山が彩られていくデジタルアートをお楽しみいただきます。
導入部分では、学生やゲストにご協力いただき、本コンテンツのライブ感を演出し、参加型コンテンツへの意欲を高めます。

- コンテンツ詳細 : **生物の多様性を学びながら、みんなで自然の風景をつくりあげる。**
リアルタイム参加型コンテンツ

- ・参加者が手元のスマホから色を選んで舞台上のスクリーンに転送することにより、着彩されていく。
- ・アプリのダウンロードは必要なく、スマホからQRを読み込むだけでコンテンツに参加可能。
- ・2つのステージに生息する固有の動物たちと出題されるクイズを通じて、生物多様性等を学ぶ。
- ・操作の説明等の進行をスムーズに行うため、記念式典ではMCを起用。
- ・操作説明用のスライドも用意

導入



MCによる説明から、デモンストレーションを実施。ユーザーの選択した色で塗られていく様を見て、参加型コンテンツへの意欲を高める。

参加



全参加者により、残りの色塗りを実施。MCによる進行のもと、山や生物多様性に関するクイズを経て、東京の自然に色をつけるアート体験を行う。

《山ステージ・小笠原ステージの2ステージ実施》

他の場所での展開

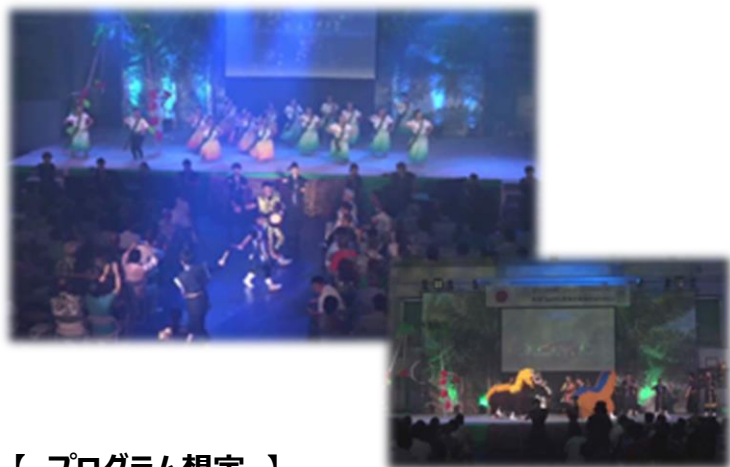


大会終了後、ビジターセンター等で活用する。

メインアトラクション

ストーリーテラーによる演劇形式のステージパフォーマンス

- ・「生物多様性への理解」や「自然と共生する都市環境作り」などを考えるきっかけとなるパフォーマンスをストーリー形式で紹介します。
- ・ストーリーの中でそれぞれのパフォーマンスが様々なメッセージを訴求していきます。



[演劇型舞台]

ストーリーテラーが、様々なパフォーマンスの橋渡し役となってプログラムを進行。プログラムに一連のストーリー性を持たせることで複数のパフォーマンスに繋がりを創り、メインアトラクションで伝えたいメッセージを明確化。

【プログラム想定】

TIME	LAP	PROGRAM	CAST
10:40	1'	▶プロローグ ・タイトル～暗転～オープニングV	・NAのみ
10:41	3'	▶エピソード① ・山の神が現代の人間界(観客)に向けて、自然界との在り方について警鐘を鳴らす。	・ストーリーテラー
10:44	10'	▶命の営み ・創作ダンスなどのパフォーマンスで、自然界のサイクルや自然の大切さを表現。	・パフォーマー①
10:54	2'	▶エピソード② ・絶妙なバランスで成り立つ自然、そこに介入する人間。必要な「不変」と「変化」を受け入れるための理解が必要。	・ストーリーテラー
10:56	10'	▶失われていくもの、生まれてくるもの ・創作ダンスなどのパフォーマンスで、環境や食物連鎖の変化による「不変」と「変化」を表現。	・パフォーマー②
11:06	2'	▶エピソード③ ・「変化」していく世界もまた、これからの世界には必要な事であり、共存するためには皆が考えなくてはならない。	・ストーリーテラー
11:08	10'	▶自然との共存 ・創作ダンスなどのパフォーマンスで、自然と人間が共存するための一人一人の気づきと積み重ねの大切さを表現。	・パフォーマー③
11:18	2'	▶終了 ・暗転～カーテンコール	・全員

メインアトラクション

【 ストーリーテラー案 】

講談師をストーリーテラーとすることで、生物多様性の物語を感動的に届け、観客に深い感動と環境への意識をもたらします。

講談師



独特の語り口と芸術的な表現力により、都市環境の多様性や生態系の奥深さをリアルかつ感動的に伝えます。

伝統と現代の融合が生み出す独自のストーリーテリングを通じて、生物多様性の重要性に迫り、聴衆の関心を喚起します。

【 パフォーマンス案 】

歴史・文化



八王子車人形

ろくろ車（箱車）に乗った人形遣いが一人で一体の人形を遣う人形芝居。人形の足の踵につけられたカカリを足の指で挟み、右手で人形の右手と人形の左手につけられた輪状の紐、左手で人形の左手と首、さらに指で目・口・眉まで動かします。人形が舞台に直接足をつけて演技が出来るため、独自の躍動感が生まれます。このような構造は世界でも類がないといわれています。

現代アート



ダンス（ブレイキン）

2024年のパリオリンピックで、新種目として実施されるブレイキン（ブレイクダンス）。東京の若者文化の一つでもあるアーバンスポーツ、ブレイキンは、都内でも世界レベルの大会が開催され、また多くのダンススクールが展開されています。山の日ステージでは、東京らしい『かっこよさ』を表現予定です。

音楽演奏+山の日の歌 合唱・演奏

明星大学 中学校・高等学校吹奏楽部

音楽演奏

未来の東京を担う学生・児童が、豊かな緑を表現する曲目を演奏します。



都内小学生による合唱

山の日の歌

東京都内の小学生と協力し、小学生による合唱を実施します。



リレーセレモニー概要

リレーセレモニー

「山の日」を象徴する「山の日帽」を次期開催地へ引き継ぎます。

登壇者： 東京都知事
福井県知事



沖縄県 玉城知事 東京都 中村副知事
前回大会（沖縄）でのリレーセレモニーの様子



山の日帽

山鐘概要

閉会の山鐘

出演団体： 都内小中学生予定

式典概要

開会のことば

登壇者： 別途調整

歓迎レセプション計画



基本的な考え方

山の恩恵を受け、現代に引継がれてきた文化の紹介、「ALL東京」を演出するアトラクションに加え、東京の山の幸・自然の恵みをふんだんに使用したコース料理を通して、東京の豊かな自然を「音楽」「視覚」「味覚」「質感」「香り」五感で楽しんでいただきます。

日時

令和6年8月11日（日・祝） 12:30～14:00

会場

京王プラザホテル八王子 『宴』

参加者

招待者約150名（随行者含む）

実施内容（案）

- 京王プラザホテル八王子協力のもと、多摩から都市部、島しょ地域まで、東京都産食材をふんだんに使用した料理（ビュッフェスタイル）をご提供。
- OPアトラクション「山入やまいり」の籠(ささら)獅子舞」（次ページ参照）
- 開宴の言葉、主催者挨拶、乾杯
- メインアトラクション「音楽×生け花ライブ～座・草月～」（次ページ参照）
- 記念品には島しょ名産の食品に加え、多摩産材のカトラリーといった、工芸品等をプレゼント

時間	LAP	プログラム
12:15	15'	開場
12:30	10'	OPアトラクション
12:40	5'	開宴の言葉
12:45	5'	主催者挨拶
12:50	3'	来賓ご紹介
12:53	2'	乾杯
12:55	25'	歓談①
13:20	30'	メインアトラクション
13:50	5'	次期開催自治体挨拶
13:55	5'	閉宴の言葉

アトラクション

音楽・視覚・香りで自然を感じることができるステージコンテンツを展開します。

【 オープニングアトラクション 】

山入(やまいり)の彫(ささら)獅子舞

八王子市指定無形文化財

「山・自然への入り口」という意味の山入という地名由来の無形文化財で五穀豊穡・悪魔退散などを祈願する舞。



未来を担う学生のOPで会場を活気付け、子ども・ダイバーシティを象徴するゲストの起用で都の目指す都市のイメージを象徴



【 メインアトラクション 】

音楽×生け花ライブ～座・草月～

日本各地の四季の花や草木の命が作り出す美しい姿を草月アトリエのスタッフが得意の大作生け花を伝統に培われたパフォーマンスで作り上げる。



「子どもの読む山の本」の中の世界をアトラクションで表現



基本的な考え方

京王プラザホテル八王子協力のもと、多摩から都市部、島しょ地域まで、東京都産食材をふんだんに使用した料理を立食形式でご提供します。

メニュー案

■西洋料理

- 東京Xの自家製ロースハムマスタードレリッシュ
- 八王子市上恩方町の小川養魚場からの活虹マス稚魚のエスカベッシュ
- 八王子市上恩方町の小川養魚場からの虹マスのスモークとクリームチーズのスモープロー
- 八王子で収穫されたじゃがいもと東京牛乳を使用したヴィシソワーズ
- 八王子で収穫された野菜で作ったガスパチョ
- 八王子市上恩方町の小川養魚場からの富士の介のマリネ磯沼牧場ヨーグルトドレッシング添え
- 東京福生市石川酒造の地ビールと秋川牛のカルボナード
- 檜原村の舞茸香草塩ロースト八王子市下柚木の原木しいたけ
- 東京生まれのキッコーゴ丸大豆醤油とバター
- 東京湾太刀魚のルーロートマトソース
(東京産(立川予定)卵を使用予定)
- 八王子桑の葉シフォンケーキ
- キャラメルプリン



■日本料理

- 御造り檜盛り～江戸前鮮魚をメインに～ 江戸東京野菜の妻物添え
- 神津島金目鯛一夜干しの炙り
- 江戸郷土料理～鰻の蒲焼き谷中生姜添え～
- 八王子市恩方町小川養魚場より～岩魚と天魚の串焼き～
- 郷土料理～深川飯～ 東京べったら漬け～日の出大根～添え
- 郷土料理～佃煮十種～
- 八王子烏骨鶏のかき玉汁



歓迎フェスティバル計画



歓迎フェスティバル計画

基本的な考え方

山や自然等を含めた生物多様性を感じられるようなステージや会場装飾、飲食は、東京の名物等を出展し、現地へ足を運びたいくなるような仕掛け、体験エリアは、子供や大人を問わず、楽しみながら山のルールやマナーを学べるような工夫等、来場者が1日を通して楽しめるものとする。

日時

令和6年8月10日(土)・11日(日・祝) 2日間

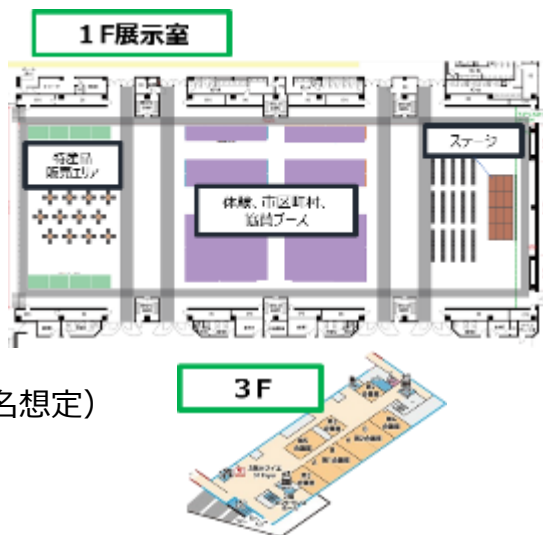
会場

東京たま未来メッセ「展示室」

参加者

招待者、一般参加者：各日 3,000名 (合計6,000名想定)

実施内容(案)



【ステージイベント】

東京都にゆかりのある太鼓演奏・タレントによるトークショー・クイズ・各ビジターセンターの紹介・地元団体によるパフォーマンス等を実施します。

【展示企画】

各関係省庁や区市町村、協賛企業等によるブース出展
クイズラリーを設置し各ブースの周遊を図り、参加者が興味を持ってイベントに参加する工夫を展開します。

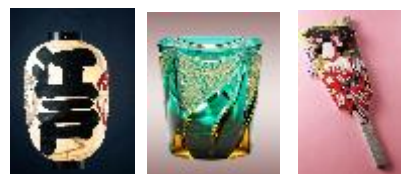
【グルメエリア】

東京のご当地グルメや島しょの特産品を使用したメニューをキッチンカーで販売します。



【特産品・工芸品販売】

各地域の観光協会等と連携、東京の特産品や工芸品の販売・PRを展開します。



【体験企画】

さわれるムササビ展示・カンナくずフラワー作り等各種ワークショップ、ボルダリング体験等、子どもから大人まで自然の楽しさを間近で感じ山への興味・関心を高めるコンテンツを展開します。



出演者案



お笑い芸人

あばれる君 (あばれるくん)

2015年「R-1ぐらんぷり2015」決勝に進出し、熱血ひとり芝居という暑苦しいキャラクターで注目を集め、一躍ブレイク。高校時代は山岳部に所属していた経験もある。TBS「冒険少年」では無人島からの脱出企画など人気企画に出演。

1日目



お笑い芸人

やす子 (やすこ)

元自衛官であることを生かしたネタを武器にバラエティ番組で活動中。「ぐるナイおもしろ荘2021新年SP」(NTV)に出演して知名度が上昇し、2023年の「上半期ブレイク芸人」で1位に輝く。芸人としてのみでなく、2021年にはレポーターとしても活躍。

2日目



津軽三味線奏者

木村姉妹 (きむらしまい)

古くから伝わる民謡をアレンジし、姉妹だからこそその息の合った三味線を披露。



Eco実験パフォーマー

らんま先生 (らんませんせい)

環境問題と科学実験のパフォーマンスを融合した「環境パフォーマンス」を披露。



環境系エンターテイナー

Wowキツネガル (わおきつねがる)



生物学者 / 早稲田大学名誉教授

池田 清彦 (いけだ・きよひこ)



生物多様性の観点から楽しく分かりやすく解説するコラボトークショーを実施。今回のテーマは「環境」

関連イベント計画



関連イベント概要

第8回「山の日」全国大会を「東京全体」で開催するに当たり、多様な主体の参画により開催するイベントを、「第8回「山の日」全国大会関連イベント」として募集し、幅広く実施することにより、東京の豊かな生物多様性や山の持つ様々な機能について、多くの方々への理解を広め、体感していただき、大会への機運醸成を図ります。

区市町村等イベント

【対象イベント（募集要件）】

- (1) 開催期間 令和6年4月1日から同年11月30日まで
- (2) 実施場所 東京都内
- (3) 主催者 東京都、区市町村、自然環境関係団体、特定非営利活動法人、企業など※
- (4) その他 大会のPRや別途実施するデジタルスタンプラリーに御協力いただきます。

※ビジターセンター等 都有施設の管理者が通常業務の中で実施している自然体験等のイベントも関連イベントとして位置づけることで、山の日趣旨をさらに広めていきます。

【募集期間】

- (1) 第一次募集：令和5年12月5日から同月22日まで
- (2) 第二次募集：令和6年3月1日から同年9月30日まで

区市町村等イベント一例

エコライブあきる野環境フェスティバル（あきる野市）

都立秋留台公園で開催予定。環境に関する様々な体験や体感などを通じ、来場者が環境の保全について関心と理解を深め、環境についての活動を始める契機創出を目指し企画されている。当日は、環境コーナー（展示・販売、行政関係）や、飲食コーナー（キッチンカーまたはテント区画）、フリーマーケット、リサイクル品（家具等）再利用コーナー、修理屋さんコーナー（おもちゃの修理・包丁研ぎ）、ゴーヤ苗の無料配布などを行う。



昨年開催の様子

夏の里山探検隊 in上川の里（八王子市）

自然の大切さを広く知ってもらうため、上川の里や里山保全地域等において、小学生とその保護者を対象とした「親子里山保全体験講座」を企画し、自然観察や間伐材を利用したクラフトワーク等の体験講座を開催する。里山を環境学習のフィールドとして活用し、自らの五感を通じて自然と触れ合うことで、動植物の生態に関する知識を身につけるだけでなく、人と自然が共生して育んできた里山の文化を未来へ紡いでいく機会となる。



昨年開催の様子 ³⁶

ビクターセンター等都有施設イベント

東京の豊かな生物多様性を踏まえた山の機能について、参加者が理解し体感できる事業であり、本大会への機運醸成に繋がるビクターセンター等都有施設のイベント事業に対し『第8回「山の日」全国大会に係る都有施設イベント事業補助金』を交付し、各都有施設の特色を生かした山の日イベントを実施します。

【補助金交付（イベント）要件】

- (1) 開催期間 令和6年4月1日から同年10月31日まで
- (2) 実施場所 ビクターセンター等 都有施設 及び その周辺の自然公園施設等
- (3) 申請者 都有施設を管理・運営する者
- (4) 実施内容 下記の山の機能のいずれかを理解し体験できるイベント事業(2つ以上)であること
 - ① 生物多様性保全機能
 - ② 地球環境保全機能
 - ③ 土砂災害防止機能／土壌保全機能
 - ④ 水源涵養機能
 - ⑤ 保健・レクリエーション機能
 - ⑥ 快適環境形成機能
 - ⑦ 文化機能
 - ⑧ 物質生産機能

【補助金交付額及び補助率】

補助事業ごとに全額（10分の10）を対象とし、上限は合計50万円とする。

【申請期間】

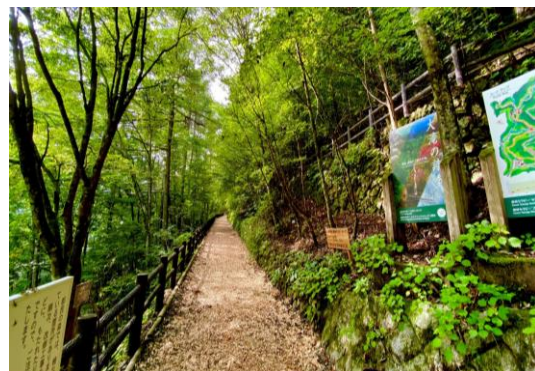
令和5年11月10日から同年12月31日まで

都有施設イベント一例

森林セラピー講演と散策（檜原都民の森）

「森林セラピー」を題材として、森の癒しの効果を科学的見地から講演するとともに、二酸化炭素吸収など山や森林が持つ地球温暖化の緩和機能なども紹介し、講聴者に森の楽しみ方や山の機能を学び、理解を深めていただく。

講演会終了後は、都内で初めて森林セラピーロードとして認定された「大滝の路」を解説付きで散策し、癒しの効果を体感したくとも、様々な植物や動物なども観察しながら生物多様性についても学んでいただきます。



デジタルスタンプラリーの実施

関連イベント（区市町村等イベント及びビジターセンター等都有施設イベント）を周遊させるための施策として、デジタルスタンプラリーを実施します。参加者が各イベントを巡りながらスタンプを集め、東京各地の自然に親しんでもらうことを促します。



実施概要

- 名称 : 山の日 TOKYO スタンプラリー
- 実施期間 : 令和6年4月1日（月）～ 令和6年11月30日（土）
- 主催者 : 第8回「山の日」全国大会実行委員会
- 賞品・当選者数 : A賞（スタンプ5個獲得）100名様
B賞（スタンプ2個獲得）500名様
- 参加方法 : 実施期間中にスタンプラリーの対象イベントをまわり、設置されているQRコードを読み取りスタンプを集める。



表示画面：参加前（スタンプ取得前）



島しょ体験ツアー

原生的な自然が広がり、島独自の生態系が形成されている「東京の島」をガイド同行のもとご案内。島の歴史や文化のほか、雄大な自然と触れ合う事ができます。

【島しょツアー4コース】

- | | |
|--------------|---------------|
| A) 神津島（3日間） | C) 三宅島（3日間） |
| B) 伊豆大島（2日間） | D) 小笠原諸島（6日間） |

※各コース、ツアー実施後にツアーレポートを作成。
公式HPにて紹介し、ツアー参加者以外へ島しょの魅力を発信する。



【ツアーレポート掲載イメージ】

ツアープラン（案）

A) 花咲く神津島・天上山トレッキング（3日間） **参加人数（想定）：15名** **実施時期：5月**

神津島は伊豆諸島のほぼ中間に位置し、白い砂浜、海、緑豊かな山と変化に富んだ美しい島です。島の中央にそびえる天上山は、標高は572mながら独特の気候風土の影響により、オオシマツツジや四季折々の花が咲き『新日本の百名山』にも数えられる山です。また溶岩ドーム“という全国でも稀な地形の火山で、東京というイメージからは想像もつかないような絶景が広がっています。夜は『星空保護区』に認定された美しい星空を眺めます。

実施時期：5月

B) 伊豆大島三原山 オオシマツツジとジオパークトレッキング（2日間） **参加人数（想定）：15名**

伊豆大島は東京から120km南の洋上に浮かぶ伊豆諸島最大の島。島の中央部には世界三大流動性火山として知られる三原山があり、オオシマツツジが咲く時期にジオガイドと共に地球の息吹を感じる大地を歩きます。山頂部ではお鉢めぐりでダイナミックな火口を見学し、更に日本で唯一砂漠として知られる裏砂漠を歩きます。初日は火口湖の跡でノスタルジックな波浮港など見学します。

実施時期：10月

C) 三宅島・雄山カルデラ火口縁見学と大自然探訪（3日間） **参加人数（想定）：15名**

2000年の雄山山頂噴火の影響で三宅島は島全体の緑の約6割が消失しましたが、約20年の時を経て、自然に配慮し火山防災学習の一環として、世界的学術価値のある雄山カルデラの火口縁まで、東京都自然ガイド同行により見学が可能になりました、大自然の息使いを肌で感じてみましょう。初日はネイチャーガイドとともに三宅島の観光で溶岩流で埋没した阿古地区の火山体験遊歩道、メガネ岩、ひょうたん山、島のサンクチュアリ・大路池などにご案内します。

実施時期（想定）：11月

D) 世界遺産・小笠原諸島 父島・母島2島探訪 観光（6日間） **参加人数（想定）：8名**

2011年6月24日に世界自然遺産に正式登録、固有種の宝庫や絶海の楽園とも呼ばれる小笠原諸島の大自然をネイチャーガイドと共に歩きます。父島では島内の自然観察、ポニブルーの海へパノラマポートツアーと上陸人数限定の南島へ、夜はオガサワラオオコウモリ等のナイトハイクも楽しめます。母島ではお手軽な南崎・小富士トレッキングで母島列島と美しい海の絶景ポイントへ。

A) 花咲く神津島・天上山トレッキング (3日間)

≪1日目≫

神津島灯台ウォーキング (ありま展望台・じゅりあの十字架)

前浜海岸からありま展望台、神津島灯台を巡るウォーキングコース。

じゅりあの十字架は、16世紀に小西行長によって朝鮮から連れてこられた、キリシタンのおたあジュリアが島の人々に尽くし、終焉の地となったことを偲び建てられています。

≪2日目≫

天上山トレッキング

全行程を踏破するには6～7時間を要します。天上山は昔から島の神聖な場所とされ、今は国立公園の特別保護区に指定されているため植物の採集は禁止されています。

毎年5月下旬ころにはオオシマツツジの花が見ごろを迎えます。

≪3日目≫

赤崎遊歩道～めいし遊歩道～神津島温泉

赤崎遊歩道は島の北部に位置する赤崎海岸に作られた全長約500mの木造遊歩道です。遊歩道の展望台からは伊豆諸島北部の島々や、富士山、南アルプスなどを望むことができます。めいし遊歩道は、入り組んだ海岸線と島から広がる森が混じり合う場所で、海と森林の美しいコラボレーションを楽しめます。

≪各日夜≫

星空観賞

都心から南へ約180kmはなれた「神津島」。

美しい夜空を守る「星空保護区」に、東京都で初めて認定された島です。

夜になり、島全体が暗闇に覆われると、そこは天然のプラネタリウムに様変わり。

真っ暗闇の中、海風を感じ、虫の声に耳を澄まします。

神津島 天上山トレッキング 初級 星空観賞エコツアー



B) 伊豆大島三原山 オオシマツツジとジオパークトレッキング (2日間)

≪1日目≫

波浮港

島の南部にある波浮港は島の中でもノスタルジックな風情ある漁港で、ゆっくり散策してみたいくなるエリアです。数々の文人や画家などの文化人も多く訪れた波浮港も時代の流れとともに静かな場所へと移り変わり、今では訪れた人々にどこか懐かしい印象を抱かせてくれる人気スポットとなっています。

筆島

海と山の自然のパワーを一挙に感じることでできる筆島。数十万年前に出来たものが長い月をかけ太平洋の荒波に削られ、不思議な形になりました。

筆の穂先のように見えるため、筆島と名付けられたこの島では、後ろの断崖絶壁とあわせてダイナミックな景観が楽しめます。

≪2日目≫

三原山

伊豆七島最大の島、大島にある山で、活火山の山はこれまで何度も噴火を繰り返してきました。現在、火山活動は収まっており、火口周辺は遊歩道が整備されて観光地として賑わっています。山頂付近からの眺望は大展望で、周辺の噴火跡、大海原、さらには富士山も見ることができます。

剣ヶ峰～裏砂漠

国土地理院が日本唯一の砂漠として認めた「裏砂漠」と呼ばれるエリア。

「海を見ながら砂漠を歩く」という独特の体験が待っています。

大島 三原山 ジオパークツアー 初級



c) 三宅島・雄山カルデラ火口縁見学と大自然探訪 (3日間)

≪2日目(島内1日目)≫

火山スポット巡り 火山体験遊歩道

1983年(昭和58年)10月3日、南西山腹に生じた割れ目から噴火しました。高さ100m以上に吹き出した溶岩は、阿古地区の一部を飲み込み、2007年、この溶岩流の上に遊歩道が完成しました。

ここを歩くと、噴火の脅威、そこに芽吹く自然の再生力を目の当たりにできます。

メガネ岩 七島展望台

溶岩流が波で侵食されてできた奇石のメガネ岩や、伊豆諸島の島々を一望できる七島展望台など、絶景スポットをお楽しみいただきます。

大路池 椎取神社

伊豆諸島最大の淡水湖「大路池」の周りは野鳥の宝庫。木々に覆われた神秘的な雰囲気。ゆったりと休憩タイムで癒されます。

椎取神社は、噴火の火山灰による泥流で拝殿と鳥居は埋まってしまい、鳥居の頭だけ見ることができます。

≪3日目(島内2日目)≫

雄山火山体験入山ツアー(要調整)

世界的学術価値のある雄山カルデラの火口縁周辺まで、雄山の貴重な自然に配慮し「火山防災学習」の一環として東京都認定自然ガイド同行による、一般の方を対象とした体験入山ツアーを実施します。

三宅島 雄山火山体験
ネイチャーツアー

中級



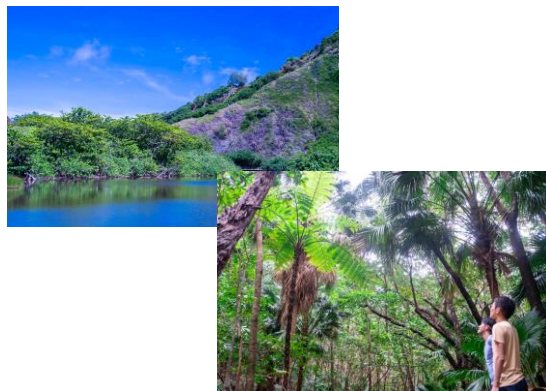
D) 世界遺産・小笠原諸島 父島・母島 2 島探訪観光 (6日間)

小笠原 世界自然遺産の森山あるきツアー **初級**

≪2日目(島内1日目)≫

父島 地元ネイチャーメイドと巡る自然観察

その日のコンディションに併せて、景色の良い場所やガイド同行でしか入れない森林生態系保護地域などをご案内します。
「小笠原の森ってどんな森？」
この島で独自の進化をした動植物を楽しくご案内。森の中だけではなく景色が綺麗な場所にも行きます。



≪3日目(島内2日目)≫

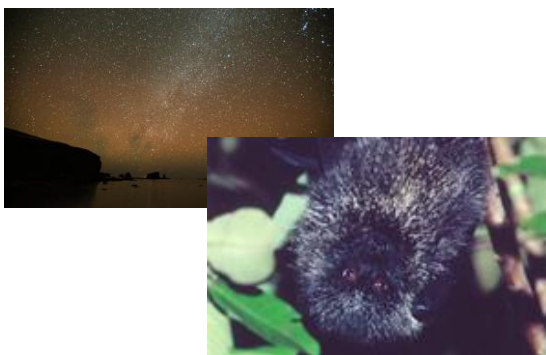
ポニブルーの海へ パノラマボートツアー

深く透き通る青い海、ポニブルーが作り出す感動の海体験へ。小笠原では通年、と出会えるチャンスがあります。群れを作るハシナギイルカと出会えればゆっくりウォッチングを行います。



ナイトツアーオガサワラコウモリ、オカヤドカリ等観察

ナイトツアーの定番、絶滅危惧種のオガサワラオコウモリや、夜怪しげに光るキノコ「グリーンペペ」を探しに行くツアー。満天の星空が見れたら、寝転んでゆっくり星空を観察。星が大好きなガイドがその日の夜空を解説します。



≪4日目(島内3日目)≫

日本最南端のふるさと富士へ 南崎・小富士トレッキング

タコノキやビロウなど、亜熱帯特有の林を2キロほど歩くとサンゴのきれいな南崎へ。南崎の分岐から20分ほど登ると小富士頂上(86m)に到着する。頂上手前は上りが続ききつく感じるが、頂上からの景色は抜群です。



広報計画

基本コンセプト

ファミリー層や生物多様性(自然)に関心の薄い層に向けてWeb・SNS広告で広く認知の獲得。交通広告等を活用し、常時情報を掲出し都内全域に広く浸透を図り、機運を醸成

広報活動の進め方

ステップ1

第8回「山の日」全国大会の周知（令和5年12月～令和6年3月）

- 大会HP、公式SNS、大会ポスター・チラシの配布、ノベルティ制作
- イベントの実施

ステップ2

関連イベントを中心とした広報展開（令和6年4月～7月）

- デジタルスタンプラリーを実施し各市町村と連携することにより、東京全体で、一体感の醸成を図る。
- 島しょツアーの実施で、東京都の自然と生物多様性の魅力発信を図る。

【普及啓発ノベルティ】

海洋プラスチックボールペン

個数：30,000個

関連イベント内にて配布する

普及啓発ノベルティとして各イベント主催者へ送付



ノベルティに込めたメッセージ
～海洋プラスチック使用、山から海をきれいに～

山と海は離れていますが実は一つに繋がっています。山でプラスチックごみを廃棄すると川を通じて海へ流出し海の生態系の脅威となることが危惧されています。山を美しく保つことで、その先にある川や海も美しく保つことができる。そんな思いをこのメッセージに込めました。

ステップ3

大会本番への機運醸成（令和6年4月～8月）

- SNS広告、Web広告、交通広告、京王特別掲出
- 記念式典のYoutube配信を行うことで、現地で参加できない方も閲覧が可能。
- 開催直前にPR活動を推進し国内外への発信を図る。

広報活動スケジュール

令和5年度			令和6年度							
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
	●大会HP ●大会公式SNS									
	●ポスター・チラシ配布		●ポスター・チラシ配布			●ポスター・チラシ配布				
	YDN GDN G検索広告 インスタ広告 LINE広告					YDN GDN G検索広告 インスタ広告 LINE広告 交通広告 京王媒体特別掲出				
				●島しょツアー					●島しょツアー	●島しょツアー

令和5年度 媒体

WEB広告シミュレーション

媒体/メニュー	想定期間	想定表示回数	想定クリック数	想定クリック率
LINE広告	24/2/22~3/2	4,102,564	7,385	0.18%
Google検索広告 (リスティング広告)	24/2/22~3/2	133,333	3,840	2.88%
META (Instagram広告)	24/2/22~3/2	548,571	3,840	0.70%
Googleディスプレイ広告	24/2/22~3/2	7,272,727	8,727	0.12%
Yahooディスプレイ広告	24/2/22~3/2	20,000,000	8,000	0.04%
合計		32,057,196	31,792	0.10%

- 想定表示回数：実際に広告が表示された回数です。インプレッション数とも呼びます。
- 想定クリック数：広告がユーザーにクリックされた回数です。
- 想定クリック率：(クリック数) ÷ (広告表示回数) で算出しています。

令和6年度 媒体

WEB広告媒体

【SNS】

LINE広告



META広告(Instagram広告)



【Web】

GDN (Googleディスプレイ広告)



YDN(Yahooディスプレイ広告)

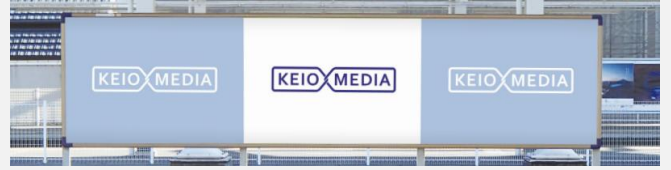


Google検索広告(リスティング広告)

交通広告

【実施内容】

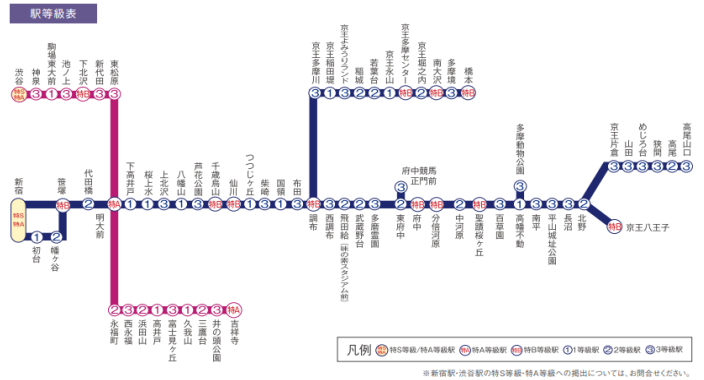
- 京王線・井の頭線 全駅ポスター掲出
(各駅B1×1枚 合計140枚)
2024年7月中旬～8月11日(日)
約3週間を想定



- 京王線・井の頭線
「山の日」イベントチラシのラック利用
2024年7月上旬～8月11日(日)
約1か月を想定



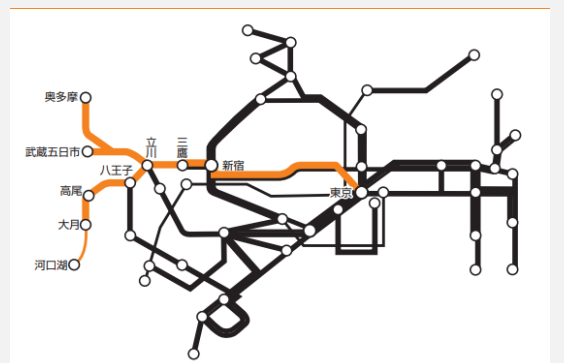
- 京王線・井の頭線 中吊りポスター掲出
(B3 合計970枚)
2024年7月22日(月)～8月11日(日)
3期を想定



- 京王線・井の頭線 まど上ポスター掲出
(インターサイズ 合計970枚)
2024年7月15日(月)～8月11日(日)
1ヶ月を想定



- トレインチャンネル 中央線快速
2024年8月5日(月)～8月11日(日)1週間を想定



公式SNS

X(twitter)

【2月～】
【イベント情報】

平日2週間に1回程度
適宜複数投稿

【イメージ】

短文の投稿を中心に、コメント機能や拡散機能を活用し、コンテンツ・イベント日程等ユーザーが求める情報をピンポイントで訴求。



LINE

【2月～】
【イベント情報】

平日2週間に1回程度
適宜複数投稿

【イメージ】

国内9500万人のユーザー数のツールを利用し、幅広く事業内容を訴求。ユーザーが検索した際に、ヒットするようなワードを記載。



Instagram

【2月～】
【イベント情報】

平日2週間に1回程度
適宜複数投稿

【イメージ】

大会の状況が伝わる画像を使用するとともにハッシュタグも使い、情報をいち早く訴求。



Webページ

1)子どもを含めたすべての都民が楽しめる大会であることを意識して、親しみのあるデザイントーンで表現。知りたい情報へ迷わず到達できるよう、アクセシビリティにも十分に配慮したサイトを構成する。

2)大会HPを利用し東京都生物多様性地域戦略のTokyo NbSアクションや生物多様性保全と気候変動対策の特設ページを作成し、広く普及啓発を行う。



PR動画 90秒ver

「山の日」全国大会を効果的にPRするための、大会テーマや各種イベントを端的に網羅した映像を制作します。東京で見られる雄大な風景や、生息する多様な動物など、都市生活では意識することのない、意外な東京の姿を導入として、「山の日」への興味を喚起。東京と山の関係への気づきも与えます。

構成について



【導入部】

東京で見られる雄大な風景や、生息する多様な動物など、都市生活では意識することのない、意外な東京の姿を紹介し、導入部で興味喚起を図ります。



【東京の山と自然】

東京の代表的な山から、都心、島しょ部へと、様々な東京の自然を紹介します。



【第8回「山の日」全国大会 TOKYO】

都市と自然が共生する東京で第8回「山の日」全国大会が実施されることを伝えます。



【「山の日」全国大会目的～イベント紹介】

「山の日」全国大会の目的理解を通じて、イベント紹介へとつなげます。主なイベントの紹介と、関連イベントが都内各地で開催されることを伝えます。



【まとめ～開催告知】

改めて「山の日」全国大会の意義と大会テーマをお伝えし、最後の開催告知へとつなげる構成にしています。



PR動画 15秒ver

「山の日」全国大会直前のイベント告知（放映時期7月を想定）を目的に15秒の動画を制作します。「歓迎フェスティバル」「記念式典」の魅力を端的に伝え、イベントの参加促進を図ります。動画の導入部は「山の日＝国民の休日」という視聴者の共通認識をきっかけに、おでかけの選択肢として呼びかける構成にしています。

構成について

ナレーション

テロップ



今年の山の日は何をしますか？

8月11日(祝)
今年の山の日は何をしますか？



山の日全国大会
歓迎フェスティバルと
記念式典を東京で開催します

[山の日ロゴ](#) [詳細情報](#)

山の日全国大会
歓迎フェスティバルと
記念式典を東京で開催します



自然をテーマにしたイベントに

山の恵みや自然をテーマにした
様々なイベントを実施



山の恵みや自然をテーマにした
様々なイベントを実施



豪華ゲストも出演決定

歓迎フェスティバル
○○○○さん
記念式典
○○○○さん
豪華ゲスト出演決定



たくさんのご参加
お待ちしております

[山の日ロゴ](#) [詳細情報](#)

たくさんのご参加お待ちしております

協賛計画



基本的な考え方

大会開催趣旨に賛同いただける企業・団体等に対し、広く協賛金募集を行い、「山の日」の意義の普及啓発とより幅広い魅力発信へと繋がります。

協賛の種類

- ① 資金協賛 本大会行事の実施に要する資金の提供
- ② 物品協賛 本大会行事の実施に要する物品※スタッフユニフォーム、参加者記念品、会場装飾等の提供

協賛金の目標 2300万以上

- ① 都内企業 1,800万円 機運醸成を図る観点からも幅広く支援を募る
- ② 都外企業 500万円 過去の大会で協賛があった企業を想定

協賛者特典一覧

区分		資金協賛の種類							
		Sコース	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	Eコース	Fコース (個人)	
		100万円 以上	50万円	30万円	10万円	5万円	3万円	1万円	
(a) 印刷物等への掲載									
1	大会PRポスター・チラシへの企業名又はロゴ等の掲載（東京都内・外で掲示・配布） ※チラシ15,000部 ポスター1,400部 予定	協賛者名	● (ロゴ)	● (ロゴ)	●	—	—	—	—
2	記念式典プログラム 大会Webサイト（リンク有）への企業名又は ロゴ等の掲載	協賛者名	● (ロゴ)	● (ロゴ)	●	●	—	—	—
3	大会Webサイト（リンクなし）への企業名等の掲載	協賛者名	—	—	—	—	—	●	—
4	記念式典、歓迎フェスティバルでの協賛企業紹介・ 会場内の看板や幕等へのロゴ又は企業名の掲載	協賛者名	● (ロゴ)	● (ロゴ)	● (ロゴ)	●	—	—	—
5	全国大会終了後に発行される大会記念誌への掲載	協賛者名	● (ロゴ)	● (ロゴ)	● (ロゴ)	●	●	●	●
(b) 記念式典・歓迎レセプション・歓迎フェスティバルの際の広告対応・物販ブース出展等									
6	記念式典・歓迎レセプションでのCM又は企業PR映 像の上映（秒数に限りあり）	協賛者 ロゴ他	●	●	—	—	—	—	—
7	歓迎フェスティバル会場へ物販等のブース出展（運 営費は除く）	サイズ別途	●	●	●	—	—	—	—
8	記念式典会場等での協賛者パンフレット配布	最大でA4	●	●	●	●	—	—	—
(c) 記念式典・歓迎レセプションへの代表者様ご招待									
9	記念式典・歓迎レセプション	特別招待	●	●	—	—	—	—	—
	記念式典	一般招待	—	—	●	●	●	—	—
(d) 交通広告への掲載									
10	京王線各駅貼りポスターへのロゴ又は企業名の掲載	協賛者名	● (ロゴ)	● (ロゴ)	●	—	—	—	—

【 掲載イメージ 】

過去大会より

○大会プログラム (S～Dコース)



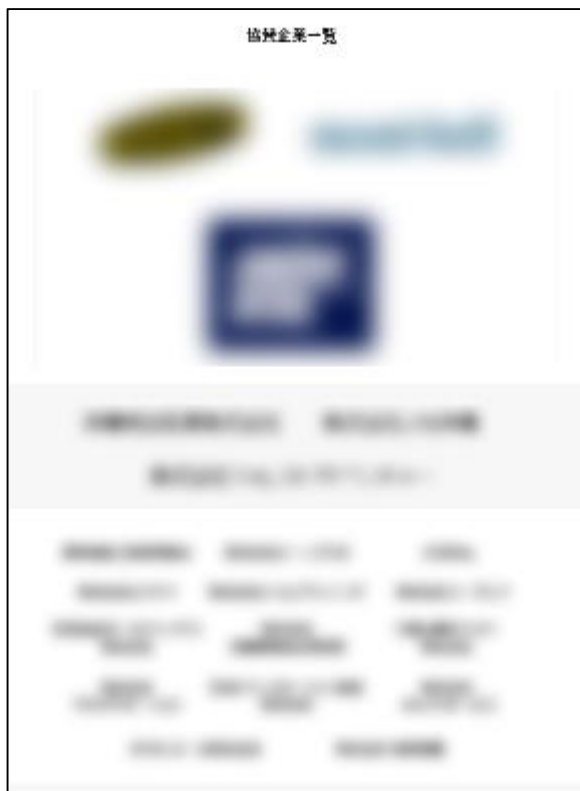
○記念式典会場 (S～Cコース)



○大会PRチラシ (S～Bコース)



○大会ホームページ (S～Eコース)



○歓迎フェスティバル ブース出展 (S～Bコース)



運営計画



宿泊計画

八王子市内施設を中心として、状況に応じて周辺市町内の施設に拡大して選定する。
 宿泊施設一例については下記参照。

	宿泊施設名	式典会場までの距離	徒歩	住所
	1 京王プラザホテル八王子	600m	7分	東京都八王子市旭町14-1
	2 the b 八王子	850m	10分	東京都八王子市明神町4丁目6-12
	3 R&Bホテル八王子	850m	11分	東京都八王子市明神町2丁目26-9

① 京王プラザホテル八王子

- ・シングル 10室 16.9㎡ 朝食付き 21,350円(税込み)
- ・ワイドシングル 20室 19.7㎡ 朝食付き 21,350円(税込み)

② the b 八王子

- ・シングル 50室 13㎡ 朝食付き 12,500円(税込み)

③ R&Bホテル八王子 20室 11.5㎡ 朝食付き 11,500円(税込み)



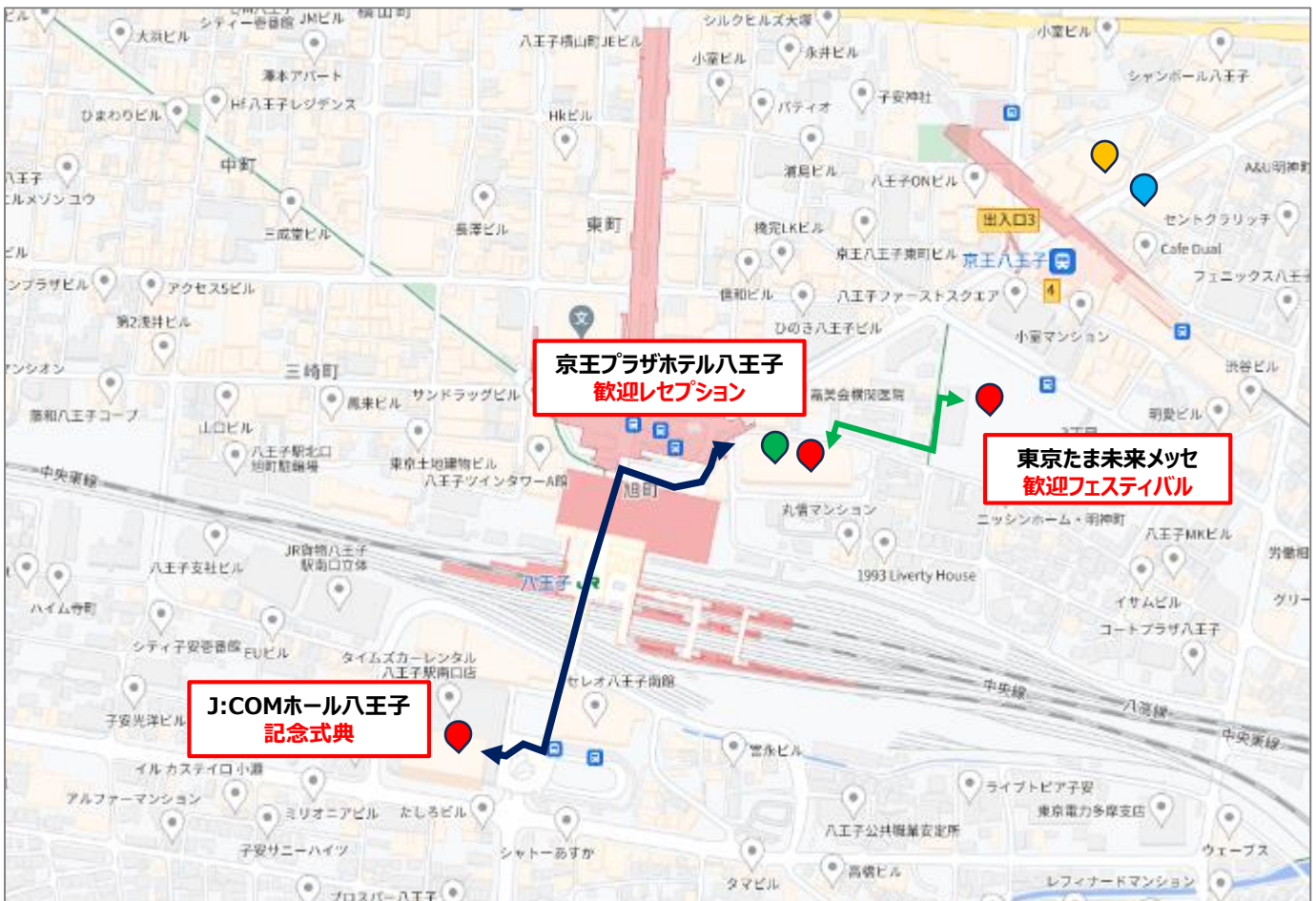
【宿泊予約システムイメージ】

移動計画

※式典会場への移動は「ペDESTリアンデッキ」の使用を想定

京王プラザホテル八王子～J:COMホール八王子 : 徒歩約6分 (500m)

京王プラザホテル八王子～東京たま未来メッセ : 徒歩約2分 (170m)



駐車場計画

原則として、各会場には公共交通機関を利用し来場していただく。ただし、一部招待者（公用車、マイカー利用の方）を対象に、駐車場を確保する。

■ 歓迎レセプション（会場：京王プラザホテル八王子）※確保予定

- ・公用車、マイカー利用の方は京王プラザホテル八王子の駐車場を利用いただく。
- ・レセプション終了後は、前泊者向けの指定宿泊施設行きの案内を行い、効率よく輸送を行う。

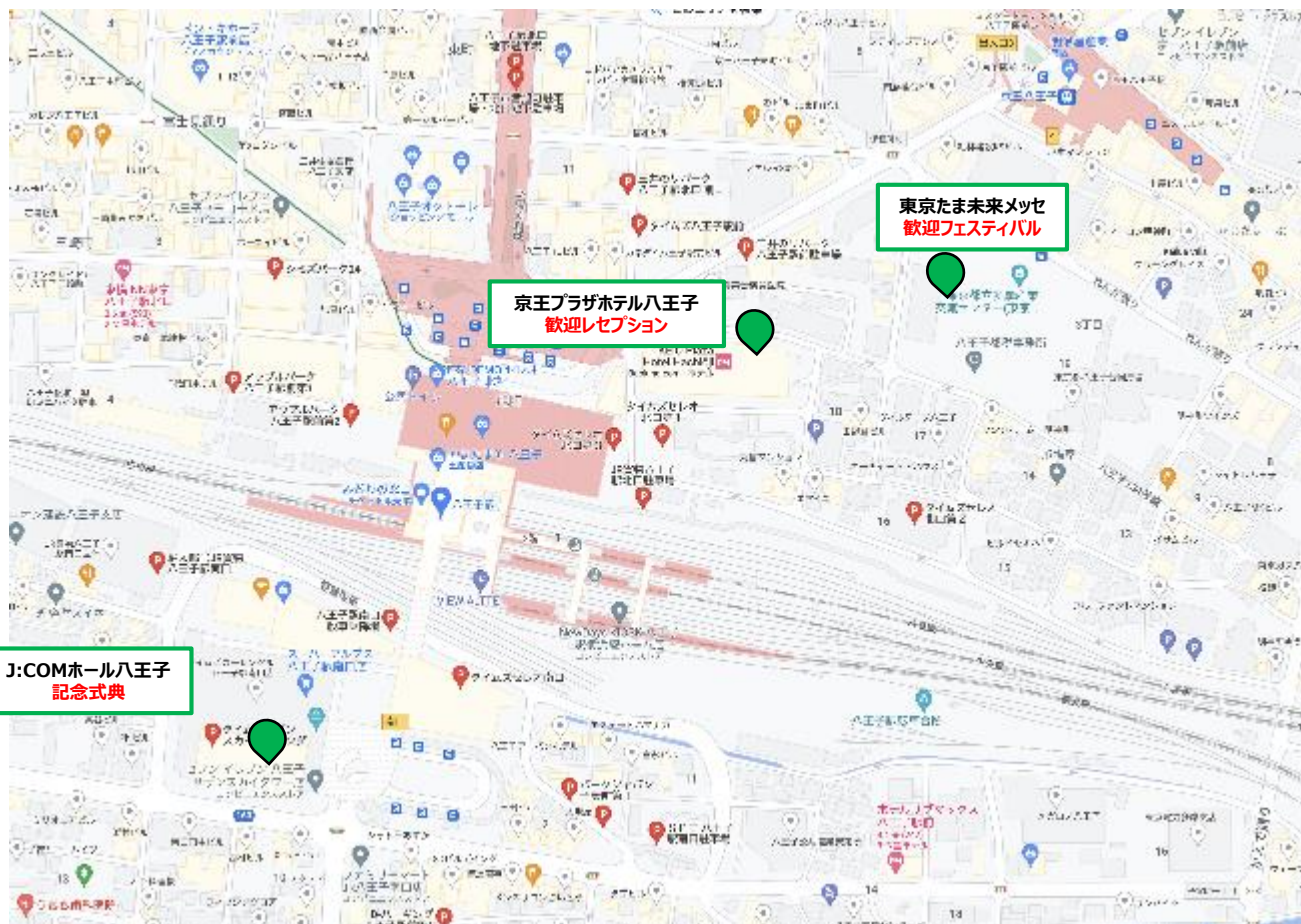
■ 記念式典（会場：J:COMホール八王子）※確保予定

- ・参加人員・各エリア宿泊者数を勘案し、参加者区分毎に輸送形態を想定。
- ・市内宿泊の方は徒歩で来場いただく。
- ・公用車、マイカー利用の方へ向け、J:COMホール八王子隣接の指定駐車場を確保する。
- ・出演者の車両はJ:COMホール八王子隣接の駐車サービスに対応する。

■ 歓迎フェスティバル（会場：東京たま未来メッセ）

- ・一般客、歓迎フェスティバル来場者は通常の催事同様、近隣の駐車場を利用いただく。

近隣駐車場一例



医療・衛生計画概要

盛夏の白昼に開催することを念頭に、各会場にて熱中症等に対する予防及び救護体制を整える。国内外での感染症発生状況を把握し、社会の動向を注視しながら、感染症対策に対応する。また、保健所及び関係機関の協力を得て衛生対策体制を整備する。

【医療・救護体制】

冷房等による適切な温度管理と水分摂取の呼びかけ等により、熱中症等の予防を図るとともに、万一の容体悪化に備えて、事前から周辺の消防署及び医療機関との連絡調整を行う。

【救護所の設置】

万が一、傷病者が発生した場合に備え、各会場に救護所を設置し、医療救護を行う。救護所には、関係機関等の協力を得て、医療関係者を配置し、応急処置及び看護に対応できるよう医療品や休憩用ベッド等を備える。各救護所では、救護記録を作成し、消防署及び医療機関の協力を得て、緊急の場合の病院搬送受け入れ体制を整える。

【衛生管理】

保健所等の協力を得て食品衛生や環境衛生について関係機関との協議を行い、衛生対策体制を整備する。食の安全を期すため、招待者の宿泊施設や各会場内で食品を提供する施設に対して事前及び当日の指導を徹底する。式典等参加者の飲食等により発生する廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努める。

消防・防災計画概要

参加者の安全を確保し、安心して参加できるように配慮する。指定の喫煙所を除き禁煙とし、火気使用についても管理を徹底する。会場内において、看板・横断幕等の設置、販売行為、火器の使用、テント等工作物の設置、などの行為を行う場合、大会責任者の許可を受けなければならないとするなど、ルールを設定する。

警備計画概要

大会の円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して会場警備を行う。指定の駐車場に駐車する車両には、大会本部が発行した大会関係車両証の掲示を義務付ける。大会の円滑な運営と秩序を妨げる、またはそのおそれのある物の持ち込みは禁止する。記念式典当日に会場に入場する人には、あらかじめ指定された識別用品の着用を義務付ける。

【危機管理】

危機管理について、危機発生の未然防止や危機発生時における応急対策が円滑に実施できるよう、事前に警察や消防など関係機関と十分な連携を図り、緊急時の連絡体制を構築する。また、危機管理体制の整備について、実行委員会で協議の元危機管理マニュアルを作成する。

リハーサル計画

円滑な運営に向けて、実施本部員、協力員（都職員、関係団体の構成員等）の研修を行う他、出演者を含めたリハーサルを実施する。また、効果的、効率的な研修、リハーサルを実施するため、事前に運営マニュアルを作成する。リハーサル計画に基づき、実施本部員全員が業務の内容を把握できるようにし、実施本部員、出演者及び協力員への研修は、事前の資料配付、現地研修、リハーサルへの参加等により行う。

荒天時計画

荒天が予想される場合、状況に応じ随時、検討確認を行い、式典等開催判定会議を開催し、式典行事を含めた開催の可否を決定の上、速やかに関係各所に連絡する。決定内容は、関係者に直ちに連絡する。台風や暴風雨、地震など人命に関わる事態を想定した対応も予めマニュアルで設定する。

第8回「山の日」全国大会実行委員会 令和6年度収支予算

【 収 入 の 部 】

(単位：円)

区 分	予算額	備考
1 負担金	84,522,000	
東京都負担金	84,522,000	
2 協賛金	23,238,000	
収入合計	107,760,000	

【 支 出 の 部 】

(単位：円)

区 分	予算額	備考
1 大会準備・運営費		
総務費	1,422,000	総会及び運営委員会開催、事務局運営経費
施設費	2,100,000	施設使用料等
大会関連費	81,000,000	大会運営業務等
小計	84,522,000	
その他関連費	23,238,000	その他関連費（大会関連費に流用予定）
支出合計	107,760,000	